

子どもたちへ、今こそ伝える戦争



(小学3~4年生向け)

長 新太 等計十九名 著 (講談社)

戦後七十年の今年、子ども本の作家十九名が描き下ろしの文と絵で子どもたちに戦争を伝える渾身のドキュメンタリーアンソロジー。イラスト解説、地図、年表等も掲載。

ニッポン大音頭時代



大石 始 著 (河出書房新社)

音頭はどこからやってきた？大衆を鼓舞し、笑わせ、郷愁を誘う強靱なリズム。戦前の驚くべき誕生秘話から現在の姿まで、音頭の変遷をたどり、日本人の“こころ”に迫る。

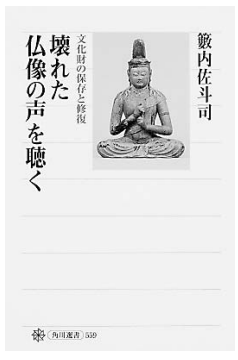
日本の火山図鑑



高橋 正樹 著 (誠文堂新光社)

日本列島にある百十の活火山のすべてを網羅して、その噴火や火山災害の特徴を示した図鑑。火山の全景や噴火時の様子がわかる写真を多く掲載し、火山の成り立ちや噴火のしくみなど、知っておきたい基礎知識も解説する。

壊れた仏像の声を聴く



藪内 佐斗司 著 (KADOKAWA)

自然環境や天災、ときに人の手によって仏像が壊れるとき、修復家は信仰と保存の間で何を選択し、仏の姿をよみがえらせたのか。解体による新発見や震災後の復興など、様々な仏像との出会いから解き明かす。

豊山俳句クラブ

青山克己 選

まつすぐに鯖街道へ初夏の風 田村多喜子
鯖街道熱き語り部風涼し 杉浦みどり
夏に入る母に似てきし仕草かな 村上ゆり子
鯖街道風のかたちが崩れゆく 高木須磨子
沈黙のままなる沙羅の落下かな 坪井昭子
手を広げ風を聞きをる初夏の旅 小塚美枝

虫籠窓透かして見ゆる白日傘 坪井径子
アルバムや置き忘れたる夏帽子 石黒貴代子
近江路や「二人静」との出会い 杉本衿子
雨やどりお国訛りとつばくらめ 安藤春一
瓜割の森のしめりの妖しかり 青山とも子
紫陽花の花にまつわる絆かな 水野真弓
鯖街道これより風の岬まで 岡島 齋
ふつと吹く風の六月やじろべい 青山克己

豊山歌壇

水野笑子 選

少しづつ水の染み入る田の眺め 山田 米
天地の恵みここに始まる 渡辺トヨ子
豊山の隅で生き来し四十年 三十一文字の言葉に癒やされ 萩野周子
古稀すぎて卒寿越ゆ母在ることを 至福と母の日花束贈る 中澤芳子
静まれる葦群に潜むは葉作りの 番の軽鳴か鳴く声のする 安藤定岳
沖つ見れば島と橋とが轟ける これぞ日本の有明海なり 一柳千鶴子

自然界を測るものさしあらずして 備へと訓練大切と思ふ 村上一枝
東天に真赤な太陽上り初め 時を忘れて見入りてしまふ 林 たよ
心配をしてもキリ無し笑つても 泣いても同じ一日なれば 落合さなえ
こんがり小麦畑は色付きて 収穫まぢかの静寂さあり 荒川昌枝
緑り返す日本の山の噴火見て 防災網を如何にと思ふ 安藤定岳

編集後記

こんにちは。僕は豊山町のマスコットキャラクター「地空人」です。大地を表す緑の髪に、額につけた天狗のお面、近未来的な青い服。皆さんは僕のことをご存知でしょうか？皆さんは僕を「地空人くん」は喋れないの？」と訊かれることがあります。本当はお話したい気持ちでいっぱいなので、僕は今日日本語を勉強中です。僕は特別にこの場を借りて、お話ししようと思います。僕は豊山町三十周年の年に生まれました。天狗としての修行の旅に出ました。その後十年の歳月を経て、再び豊山町に帰ってきました。僕のことを生まれたときから知っている方はどのくらいいるのか。今は、役場で働いている人からお仕事をもらい、豊山町をより多くの人に知ってもらいために活動中です。先月行われた町民協議会では、豊山町の魅力発信をテーマに、僕のPR戦略について話し合いがされました。僕はこの場で初めて「ごちつくん」というあだ名をつけてもらいました。あだ名で呼んでもらうと、仲良くなった気分になりますね。今まで考えもしませんでした。これはすごい発見です。この他にもたくさん意見が湧いてきました。僕は今、「ゆるキャラグランプリ2015」に参加しています。昨年は皆さんの応援のおかげで、五百六十一位になることができました。皆さんの応援が、僕の励みです。今年は、百位以内を目標に、より一層頑張ります。ここまで僕のお話を読んでいただき、ありがとうございます。僕を見かけたときは、ぜひ声をかけてください。皆さんとの交流を楽しみにしています。